

「京都を学ぶセミナー-南山城編」第3回（開催報告）

2019年7月18日
京都学・歴彩館
075-723-4835

2017年度から開始した「南山城の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【南山城編】」第3回を、下記のとおり開催しましたので報告します。

記

- 日 時 2019年7月16日（火）13:30～15:00
- 会 場 京都学・歴彩館大ホール
- 参加者数 118名
- 内 容 講 演 京都大学防災研究所准教授 竹門 康弘
「木津川はココがおもしろい！～自然と生きものの世界～」

■ セミナーの様子と当日の参加者の声

普段、何気なく見ている風景には、我々が思いもしなかった世界が広がっている。川と人間……。自然が生み出す川の流れ、人間はその流れを利用してきた。人間は自然を利用し、破壊する。自然と人間、それは相反するものとして一面的に見られることが多い。しかし待て。人間がすることは悪いことだけなのだろうか。川の自然と人間。人間だからこそ出来る川の保全活動もある。また、川は人間だけのものではない。川を生息場とする多様な生物がいる。そして川の浄化を支えるプランクトンもいる。川と人間の関係は、これら多様な生物と川の関係の一部なのである。本セミナーでは、木津川の保全活動を行ってきた講師から、木津川の自然環境、生息する生物が見せる多様性、そして自然と生きものの世界について分かりやすくお話し頂いた。豊富な調査データ、写真を使っただけの講演に参加者は引き込まれていた。最後に講師が行ってきた木津川保全活動の一例として竹蛇籠の設置とその効果についても話があり、大変有意義なセミナーとなった。

参加者からは「おもしろかったです。自然と伝統的手法で再生する活動に感動しました」、「初めて知ることばかりで、とても興味深く面白かったです。一度、自分の目で見てみたいと思いました」など、多くの人々の関心を得た。

